

新春を迎えて

下川町長 谷 一之



町民の皆様、新年あけましておめでとうございませう。

令和4年の輝かしい新春を皆様とともに迎えられることを心からお喜び申し上げます。

昨年は、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、年明けの集中対策期間、まん延防止等重点措置、5月と8月には緊急事態宣言が発せられ、外出自粛、施設の使用制限、イベントなどの開催中止や延期、あらゆる場面において、マスク着用、手

洗い、うがい、3密の回避を始め、新北海道スタイル、新しもかわスタイルなど感染防止対策の徹底を周知してきたところでありませう。

しかしながら、町内の生活や経済活動においては、まだまだ、影響が出ているところであり、住民生活支援として、子育て世帯への生活支援特別給付を始め、高齢者1人あたり2,500円分の商品券支給、福祉灯油等助成事業、社会活動再開支援として、ワクチン接種事業、学校のICT環境整備事業、地域経済回復等として、飲食店応援、町独自の持続化給付金、「スーパープレミアム商品券」など、様々な対策を進めて参りました。また、町民の皆様には、これらの対応策にご理解頂くとともに、感

染症防止対策や5月からのワクチン接種にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

第5波が収まり、11月ころから新規感染者数が減少し、日常生活が戻りつつありましたが、12月に入り感染力が高いとされる新型コロナウイルス変異株（オミクロン株）の感染者と濃厚接触者が日本国内でも確認されたことから、緊張が高まっています。今後も、気を緩めることなく、感染予防の対応策や住民の皆さんへの支援を図って参る所存でございます。

昨年の世相を表す漢字に「金」が選ばれましたが、これは、東京オリンピック、パラリンピックに出場して、頑張った選手だけではなく、新型コロナウイルス感染症で様々な制限下の

中で、頑張っている町民皆さんに対しての「金」だと思えます。

さて、今年の干支である「寅年」は、草木が伸び始める様を表していると言われており、「物事の成長が期待できる」年になると言われています。

令和に入ってから、子年の繁栄を土台として、丑年は牛歩ではありますが、一歩一歩着実に物事を進め、寅年で才能や運氣が芽吹き、新しい年が皆様にとりまして、ご家族ともども、ご健勝で幸多き年となるようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。町民の心をついに、この難局を乗り越ってまいりましょう！

